

令和7年度事業計画書

令和7年4月 1日から

令和8年3月31日まで

我が国を取り巻く状況は、長引く燃料・原材料価格の高騰や、米国の追加関税の影響が不透明であること等、海外情勢の不安定さからの実態経済への影響が懸念されていますが、企業収益は堅調に推移しており、総じて緩やかな持ち直しの動きがみられています。

県内経済においても緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、特に物価高や人材不足により中小・小規模事業者にとって厳しい状況が続いています。

このような状況の中、令和7年度の岩手県青連としては、例年実施しているリーダー研修会等の研修会に加え、商工会青年部全国大会がいよいよ本県にて開催されることとなります。令和6年度に引き続き、例年実施している委員会活動や、研修についても全国大会開催を念頭に置き、実施内容を柔軟に変化させ、全国大会の成功を最も重要な目標と定め、組織体制を整備して参ります。

また、令和7年度は役員改選期であるため、今まで実施した全国大会を中心としたさまざまな企画等の経緯をしっかりと引き継ぎ、ブラッシュアップした上で運営に臨めるよう、県下青年部を挙げて取り組みます。

また、併せて組織強化活動については、全国的な青年部の課題となっている後継者不足と部員数減少という大きな課題を解決するため、また、共に令和7年度の全国大会を盛り上げ、他県からの部員を迎える仲間を増やすためにも県下全青年部員が一丸となって部員増強を推進し組織基盤の強化を図るとともに、青年部活動の魅力を積極的に発信します。

事業計画の詳細は次頁以降に記載いたします。

1 研修・研究活動

後継者・若手経営者としての資質向上を図るため次の事業を行う。

(1) 商工会青年部リーダー研修会の開催

開催日 令和7年7月3日（木）～4日（金）（予定）

場 所 滝沢市「ツガワ未来館アピオ」

内 容 青年部主張発表岩手県大会等

(2) 第31回東北六県・北海道青年部員交流研修会の開催

開催日 令和7年8月27日（水）

場 所 宮城県仙台市「江陽グランドホテル」

内 容 青年部主張発表東北六県・北海道ブロック大会等

(3) 経営革新計画承認に向けた取組み

県青連主催のセミナー参加や商工会連合会の事業等の活用を通じて青年部員が自社

の生産性向上や経営力向上を図るとともに、経営革新計画法認定企業の輩出を目指す。

※令和7年度経営革新計画法認定企業 目標10件

(4) 運営研究会の開催

必要に応じて開催する。

2 組織強化活動

魅力ある青年部づくりを推進するため、部員の意識高揚を図りながら次の事業を行う。

(1) 青年部員増強運動の実施

全国的な課題である部員数減少を解決するため、部員の加入推進を図り、魅力ある青年部づくりに資するため、全青年部員一丸となって部員増強運動を組織的かつ積極的に取り組む。

(2) 未来の青年部リーダー育成事業

ブロックごとに選出された若干名の青年部員に対し、県青連理事会へのオブザーバー参加やリーダー研修会等の参加費助成等を通じ積極的に県青連事業に関わっていただくことで、地域の若手経営者をけん引する次世代のリーダーを育成することを目的に実施する。

(3) 全青連全国統一事業「絆感謝運動」の実施

6月10日に各青年部において、地域や家族との“絆”を確認し、清掃奉仕活動、献血活動福祉施設慰問活動等を実施することで、全国の青年部員の一体感を創出し帰属意識の向上を図る。

(4) 青年部手帳の必携及び商工会カードの普及

全青年部員の青年部手帳の必携化を通じて、青年部への帰属意識の向上を図るとともに、地域需要の喚起・拡大、青年部財政基盤の強化を目的に商工会カードの普及促進を図る。

(5) IMPULSEマークの活用方法の検討

全青連によるIMPULSEマークの商標登録と取扱要綱の制定に伴い、本県におけるIMPULSEマークの活用方法や収益事業の可能性について引き続き検討を行う。

(6) 移動県青連の開催

県青連活動・各青年部活動の活性化や、全国大会の趣旨や進行状況等を共有することを目的に移動県青連を開催し、県青連役員と参加青年部員が、幅広い意見交換を行うことで、今後の県青連事業への反映や意見提言等につなげる。

(7) 青年部活動のPRに係る事業

既存のホームページやFacebookに加え、Instagram等も活用し、青年部活動を広くPRすることで、魅力の発信、帰属意識の強化につなげる。

(8) 野外活動を通じた青年部員交流会

スポーツ等屋外活動を通じ、青年部事業全般の情報交換・青年部員同士の交流を促進するために開催する。

3 令和7年度商工会青年部全国大会の開催

令和7年度は商工会青年部全国大会を岩手県にて開催する。全国の青年部員を歓迎し、運営する岩手県商工会青年部員も含め、参加者全員が大会を通じた学びに寄与できるよう企画・運営を実施する。

また、企画・運営の中核は県青連役員等を中心とした全国大会総合企画委員会が担うこととし、県下商工会青年部へ迅速な情報共有・協力要請を行う。

開催期日 令和7年11月26日(水)～27日(木)

準備日 令和7年11月24日(月)～25日(火)

※25日(火)は大会リハーサルが行われます。

開催場所 岩手県滝沢市「ツガワ未来館アピオ」

全国大会総合企画委員会 県青連役員・前県青連役員等を中心に組織する
委員会の招集については、担当部門毎に適宜行う。

4 災害支援体制の強化

平成28年度に策定した「災害対策マニュアル」に基づき、全青年部が大規模災害発生時に迅速な支援活動ができる体制を整備するとともに、自然災害引当金を通じて全青連100円玉募金や被災青年部等に対する義援金の拠出を行う。

また、全国商工会青年部連合会が主催する災害備蓄事業への参加・協力を行う。

5 広報活動

以下の活動を通じて県内全青年部及び青年部員による青年部活動や地域情報等の発信強化を図る。

- (1) 県青連公式HP等を通じたタイムリーな情報発信
- (2) 県連広報誌「商工会いわて」への記事掲載協力
- (3) 全国連「月刊商工会」への記事掲載協力

6 意見活動

- (1) 知事を囲む懇談会への出席
- (2) 岩手県議会商工観光政策研究会と岩手県商工会連合会との懇談会への参加

7 関係団体との連携強化

- (1) 東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会事業への参加・協力
ア 東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会通常総会・役員会
開催日 令和7年5月13日(火)

- 場 所 岩手県盛岡市「岩手県商工会連合会館 2 階」
- イ 第 3 1 回東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会並びに主張発
開催日 令和 7 年 8 月 2 7 日（水）
場 所 宮城県仙台市「江陽グランドホテル」
内 容 青年部主張発表東北六県・北海道ブロック大会等
- ウ 東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会第 1 回会長会議
開催日 令和 7 年 6 月下旬
場 所 宮城県仙台市
- エ 東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会第 2 回会長会議
開催日 令和 6 年 8 月
場 所 オンライン開催
- オ 東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会正副会長研修会
開催日 未定
場 所 秋田県
- カ 東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会正副会長会議
開催日 未定
場 所 山形県
- （2）全青連事業への参加・協力
- ア 全青連通常総会
開催日 令和 7 年 5 月
場 所 東京都
- イ 都道府県青連リーダー研修会
開催日・開催場所未定
- ウ 都道府県青連会長会議・研修会
開催日・開催場所未定
- エ 全青連臨時総会
開催日・開催場所未定
- （3）青年友好団体等関係青年団体の事業への参加・協力
- ア 岩手県青年友好 5 団体情報交換会（仮称）
開催日 7 月上旬
内容 若手経営者等の資質向上研修、交流会他
場所 盛岡市

8 会議等の開催

- （1）通常総会
開催日 令和 7 年 5 月 8 日（木）
場 所 盛岡市「岩手県商工会連合会館 2 階」
- （2）正副会長会議

必要に応じて開催する。

(3) 理事会

- ア 第1回 開催日 令和7年4月11日(金)
場 所 盛岡市「岩手県商工会連合会館」
- イ 第2回 開催日 令和7年5月8日(木)
場 所 盛岡市「岩手県商工会連合会館2階」
- ウ 第3回 開催日 令和7年 6月上旬
- エ 第4回 開催日 令和7年 8月上旬
- オ 第5回 開催日 令和7年11月上旬
- カ 第6回 開催日 令和8年 2月下旬

(4) 監査会

- 開催日 令和7年4月11日(金)
- 場 所 盛岡市「岩手県商工会連合会館2階」

(5) 青年部長会議

必要に応じて開催する。